



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

# 科学に基づく目標設定 スタートガイド

バージョン1.1

2024年3月

## SBTiについて

科学に基づく目標設定イニシアチブ (SBTi) は、企業のための気候変動対策組織であり、全世界の会社や金融機関が気候危機との闘いの中で各自の役割を果たすことを可能にします。

本組織は、地球温暖化が壊滅的なレベルに達しないように抑え、遅くとも2050年までにネットゼロを達成するために必要な条件に整合する温室効果ガス (GHG) 排出削減目標を企業が設定できるようにする基準、ツール、ガイダンスを開発しています。

SBTiは慈善団体として設立され、本組織の目標認定サービスは子会社が提供しています。本組織のパートナーは、CDP、国連グローバル・コンパクト、We Mean Business Coalition、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) です。

## 免責事項

本書は、Science Based Targets initiative (SBTi、科学に基づく目標設定イニシアチブ)が開発・作成した科学に基づく目標設定スタートガイド (GETTING STARTED GUIDE FOR SCIENCE-BASED TARGET SETTING) の日本語翻訳版です。この翻訳版は、参考として提供するものに過ぎません。企業各社は、SBTiが開発・作成した英語版原本を確認する必要があります。

本書の作成には相当の注意を払っておりますが、Science Based Targets initiative (SBTi) は、本書を正確性、完全性または目的適合性について明示的にも黙示的にも保証せずに提供することを確認します。これによりさらにSBTiは、本書の使用に関連する損害または損失について、直接的と間接的とを問わず、法律により許可される最大の範囲で一切の賠償責任を否認します。

本書に記載する情報（データを含みます。）は、何らの助言（財務とそれ以外とを問わず）の根拠とすることも想定していません。SBTiは、本書内のデータまたは情報を使用もしくはそれに依拠したことから生じる賠償請求もしくは損失の賠償責任を一切認めません。

本書は著作権により保護されています。本書の情報または素材は、改変せずに個人的な非営利用途に限って複製することができます。その他のすべての権利を留保します。本書に使用した情報または素材は、英国1988年著作権、意匠及び特許法（随時改正）（以下、「著作権法」）により許可される私的研究、批評、レビューを目的とする場合に限って使用することができます。著作権法により許可されるあらゆる複製には、選択する抜粋、引用、図表、内容、その他の情報の出典が本書であることを明記するものとします。

SBTiは、指定の改訂スケジュールに従い、または最新の排出シナリオ、規制上、法的もしくは科学的進展、ならびにGHG（炭素）会計のベストプラクティスを反映するために得策である場合、本書を改定する権利を留保します。

「Science Based Targets initiative」および「SBTi」は、イングランドで設立された会社登記番号14960097の非公開会社で、英国登録慈善団体番号1205768のScience Based Targets initiativeを指します。

© SBTi 2024

# スタートガイドについて

本書は、SBTi [企業短期目標基準](#)とSBTi [企業ネットゼロ基準](#)に整合する科学に基づく短期目標およびネットゼロ目標を設定する企業を支援するための簡単なガイドを目的とするものです。企業は、[SBTi目標の審査手続](#)、[セクター別ガイダンス](#)、[SBTi用語集](#)も併せて参照し、さらに詳しい情報を確認する必要があります。

本書の構成は、以下のとおりです。

## 科学に基づく目標設定を開始する.....5

この章では、科学に基づく目標を設定するのに適格な企業かどうかを理解するため、順を追って組織レベルのチェック事項を紹介し、その進め方を説明します。

## 科学に基づく短期目標の設定.....7

この章では、短期目標を設定する最初の手順、基本的な基準、補足資料について説明します。

## 科学に基づく短期目標と長期目標の主要基準.....8

この表は、科学に基づく短期目標と長期目標の目標バウンダリ、時間枠、手法の適格性、最低限の野心要件の概要をまとめたものです。

## 科学に基づく長期ネットゼロ目標を設定する.....9

この表は、科学に基づく長期目標を設定するために企業が使用できる手法の概要と説明をまとめたものです。

## 科学に基づく目標の1.5°C経路.....10

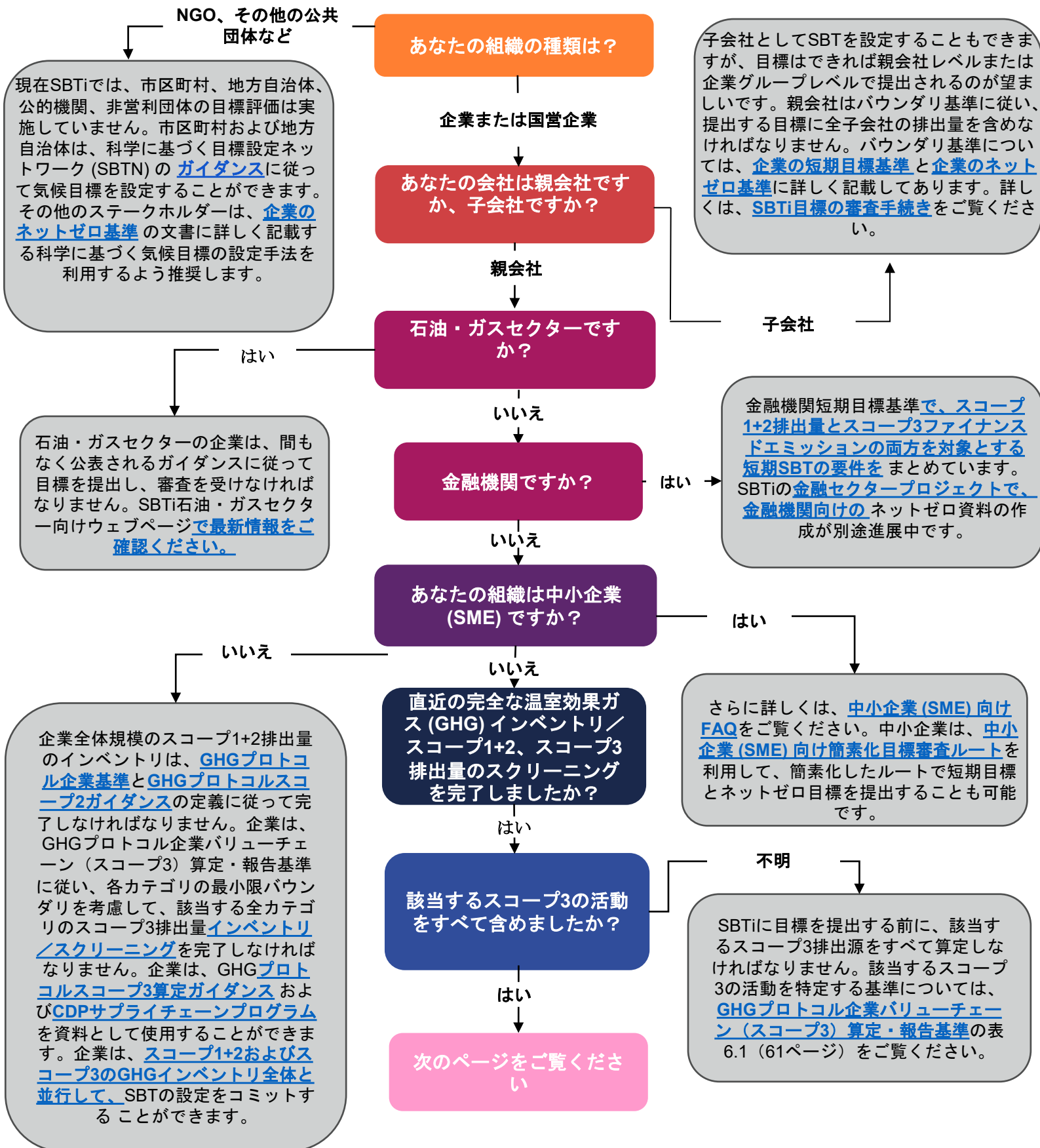
この章では、1.5°C整合の科学に基づく短期・長期目標を設定するために企業が利用できるSBTiの既存および計画中のセクター別経路の状況を説明します。

## ネットゼロ目標の審査準備.....11

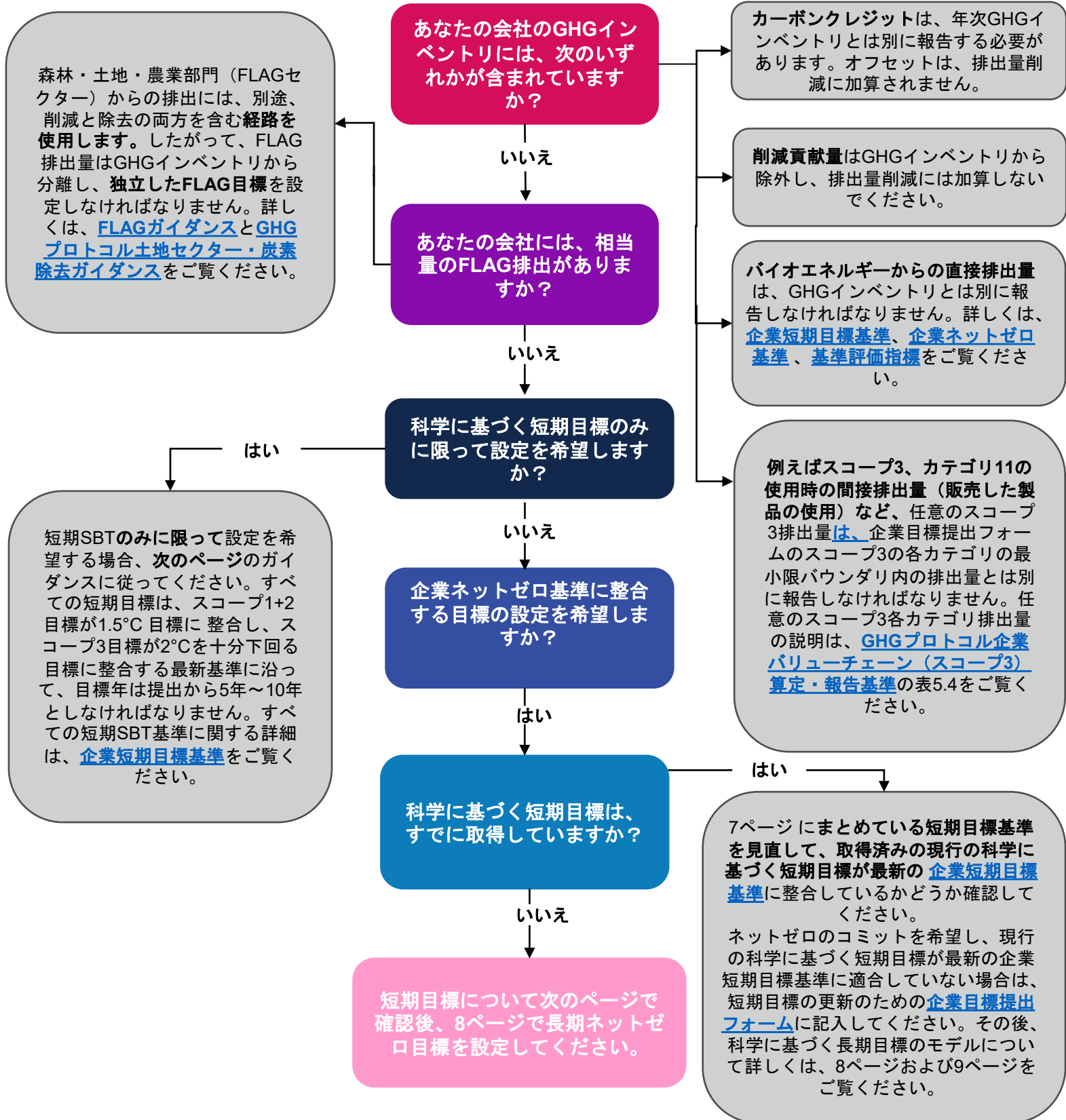
この章は、科学に基づく短期目標がすでに認定を受けている企業を対象とします。1) 審査プロセスを開始する前に必要不可欠なチェック事項、2) 目標再計算が必要となる場合、3) ベストプラクティス、最新の気候科学への整合に関する意思決定ツリー（デシジョンツリー）を紹介します。

本書を英語から日本語に翻訳・校正するにあたり、以下の方にもご協力いただきました：羽賀秋彦

# 科学に基づく目標設定を開始する



# 科学に基づく目標設定を開始する



# 科学に基づく短期目標の設定

短期SBTiのみを設定したい場合、またはネットゼロのコミットを希望しているが短期目標をまだ設定していない場合は、次の表を使用します。

<p>補足文書</p>	<p>さらに詳しくは、以下をご覧ください：</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="334 426 865 527"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="#">企業ネットゼロ基準：「科学に基づく目標を定めるプロセス」の項</a></li> <li>2. <a href="#">企業短期目標基準</a></li> </ol> </td> <td data-bbox="865 426 1495 527"> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. <a href="#">SBTi目標の審査手続き</a></li> <li>4. <a href="#">基準評価指標</a></li> <li>5. <a href="#">企業短期目標設定ツール</a></li> </ol> </td> </tr> </table>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="#">企業ネットゼロ基準：「科学に基づく目標を定めるプロセス」の項</a></li> <li>2. <a href="#">企業短期目標基準</a></li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. <a href="#">SBTi目標の審査手続き</a></li> <li>4. <a href="#">基準評価指標</a></li> <li>5. <a href="#">企業短期目標設定ツール</a></li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="#">企業ネットゼロ基準：「科学に基づく目標を定めるプロセス」の項</a></li> <li>2. <a href="#">企業短期目標基準</a></li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. <a href="#">SBTi目標の審査手続き</a></li> <li>4. <a href="#">基準評価指標</a></li> <li>5. <a href="#">企業短期目標設定ツール</a></li> </ol>			
<p>スコープ1+2</p>	<p><b>気温、時間枠および排出量のカバレッジ</b></p> <p>SBTi基準バージョン5.0以降、企業は1.5°C目標に整合するスコープ1+2目標を定め、その目標を審査のためにSBTiに提出した日から5年~10年以内に達成しなければなりません。</p> <p>企業は、スコープ1+2総排出量の5%を上回る量をGHGインベントリのバウンダリまたは目標バウンダリから除外してはなりません。</p>	<p><b>手法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>セクター共通総排出量削減</b>：（セクター別ガイドランスに従わなければならないFLAGセクターと電力セクターを除きます。）は、排出量を毎年最低4.2%削減します。</li> <li>● <b>セクター別経路</b>：セクターによって、総排出量削減または強度収束が可能です。</li> <li>● <b>再生可能電力（スコープ2）</b>：1.5°Cシナリオに一致する比率で再生可能電力を調達：             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 閾値として2025年までに再生可能電力の調達率80%、2030年までに調達率100%とします。</li> </ul> </li> </ul>		
<p>スコープ3排出量</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="334 1073 899 1230"> <p><b>スコープ3排出量が全排出量の40%未満</b></p> <p>スコープ3目標の設定の必要はありませんが、ベストプラクティスとしては設定することを奨励します。以下の要件を確認してください。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="334 1251 899 1545"> <p><b>スコープ3排出量が全排出量の40%以上</b></p> <p>企業は、GHGプロトコル企業バリューチェーン（スコープ3）算定・報告基準に適合する形で、<a href="#">スコープ3総排出量の最低67%をカバーする</a>排出量削減目標及び又はサプライヤー／顧客エンゲージメント目標を1つ以上設定しなければなりません。スコープ3目標は、2°Cを十分下回る経路に整合しなければなりません。また、その目標を審査のためにSBTiに提出した日から5年~10年以内に達成しなければなりません。</p> </td> </tr> </table>	<p><b>スコープ3排出量が全排出量の40%未満</b></p> <p>スコープ3目標の設定の必要はありませんが、ベストプラクティスとしては設定することを奨励します。以下の要件を確認してください。</p>	<p><b>スコープ3排出量が全排出量の40%以上</b></p> <p>企業は、GHGプロトコル企業バリューチェーン（スコープ3）算定・報告基準に適合する形で、<a href="#">スコープ3総排出量の最低67%をカバーする</a>排出量削減目標及び又はサプライヤー／顧客エンゲージメント目標を1つ以上設定しなければなりません。スコープ3目標は、2°Cを十分下回る経路に整合しなければなりません。また、その目標を審査のためにSBTiに提出した日から5年~10年以内に達成しなければなりません。</p>	<p><b>手法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セクター共通総排出量削減</li> <li>● セクター別強度収束</li> <li>● 経済的炭素強度</li> <li>● 物理的炭素強度</li> <li>● サプライヤー／顧客エンゲージメント</li> <li>● 輸送時排出量を生じるスコープ3の事業がある場合、または電力もしくはFLAGセクターの場合は、セクター別ガイドランスを確認してください。</li> </ul>
<p><b>スコープ3排出量が全排出量の40%未満</b></p> <p>スコープ3目標の設定の必要はありませんが、ベストプラクティスとしては設定することを奨励します。以下の要件を確認してください。</p>				
<p><b>スコープ3排出量が全排出量の40%以上</b></p> <p>企業は、GHGプロトコル企業バリューチェーン（スコープ3）算定・報告基準に適合する形で、<a href="#">スコープ3総排出量の最低67%をカバーする</a>排出量削減目標及び又はサプライヤー／顧客エンゲージメント目標を1つ以上設定しなければなりません。スコープ3目標は、2°Cを十分下回る経路に整合しなければなりません。また、その目標を審査のためにSBTiに提出した日から5年~10年以内に達成しなければなりません。</p>				
<p>セクター別ガイドランス</p>	<p>短期目標に関するセクター別補足ガイドランスは、<a href="#">企業ネットゼロ基準</a>の表4またはセクターガイドランスの<a href="#">ページを参照してください</a>。</p> <p><b>輸送時排出量</b>：全セクターにわたり、すべての輸送関連排出量は、WTW（well-to-wheel、油井から車輪まで／採掘から走行による消費まで）ベースで、各社のGHGインベントリ内で報告してください。</p> <p><b>電力</b>：電力セクターの企業は、<b>セクター別経路</b>を使用しなければなりません。</p> <p><b>FLAG（森林・土地・農業部門）</b>：FLAG排出量が最低20%以上ある企業は、FLAGガイドランスに従い、別途FLAG目標を設定しなければなりません。</p>			

SBTiでは、最も野心的な脱炭素シナリオを使用し、最も早期の削減と累積排出の最小化につなげることを推奨します。

スタートガイド

# 科学に基づく短期目標と長期目標の主な基準

この表は、科学に基づく短期目標と長期目標の主要な目標バウンダリ、時間枠、手法の適格性、最低限の野心要件の概要をまとめたもので、すべてを包括したものではありません。手法、経路、基準および推奨についてさらに詳しくは、[企業ネットゼロ基準](#)をご覧ください。

		スコープ1+2排出量			スコープ3排出量				
科学に基づく短期目標	目標バウンダリ	スコープ1+2排出量の95%をカバー			スコープ3排出量が総排出量の40%超を占める場合：目標バウンダリは、スコープ3排出量の最低67%をカバーしなければならない				
	目標年	提出日から5年～10年			提出日から5年～10年				
	手法の適格性と最低限の野心	手法	セクター共通総排出量削減 (ACA)	セクター別強度収束 (SDA)	再生可能電力 (スコープ2のみ)	セクター共通総排出量削減 (ACA)	セクター別強度収束 (SDA)	サプライヤーまたは顧客エンゲージメント	スコープ3排出量 物理的および経済的炭素強度の低減
		適格性と最低限の野心	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間線形削減率 (LAR) は基準年によって異なり、最低4.2%</li> <li>例外：FLAGセクター経路の年間線形削減率 (LAR) は3.03%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクターおよび企業のインプットによって異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年までに再生可能電力 (RE) 80%</li> <li>2030年までに再生可能電力 (RE) 100%を達成、以後は維持目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.5% LAR (年間線形削減率)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクターおよび企業のインプットによって異なる (SDA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤー／顧客が最新の企業短期基準に整合する科学に基づく目標を設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年比7%の物理的／経済的炭素強度低減 (年複利計算)</li> </ul>
科学に基づく長期目標およびネットゼロ目標	目標バウンダリ	スコープ1+2排出量の95%をカバー			スコープ3排出量の90%をカバー				
	目標年	遅くとも2050年 (電力SDAおよび海運SDAを使用する企業については2040年)			遅くとも2050年				
	手法の適格性と最低限の野心	手法	セクター共通総排出量削減 (ACA)	セクター別炭素強度収束 (SDA)	再生可能電力 (スコープ2のみ)	セクター共通総排出量削減 (ACA)	セクター別炭素強度収束 (SDA)	サプライヤーまたは顧客エンゲージメント	スコープ3排出量 物理的および経済的炭素強度の低減
		適格性と最低限の野心	<ul style="list-style-type: none"> <li>90%削減 (セクター共通経路)</li> <li>FLAGセクターについては72%削減</li> <li>他セクターの経路はそれぞれ異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクター／コモディティにより経路は異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年までに再生可能電力 (RE) 100%を達成、以後目標値を維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>90%削減 (セクター共通経路)</li> <li>FLAGセクターについては72%削減</li> <li>他セクターの経路はそれぞれ異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクター／コモディティにより経路は異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学に基づく長期目標には不適格</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理的および経済的炭素強度の両方について全体で97%削減</li> </ul>
		不適格			1.5°C目標に整合する野心		2°Cを十分下回る目標に整合する野心		



# 科学に基づく長期ネットゼロ目標を設定する

企業は、各社のネットゼロへのコミットの一環として、遅くとも目標年を2050年までとして定め、1.5°C目標に整合する科学に基づく長期目標を設定しなければなりません。その目標では、スコープ1+2排出量の最低95%、スコープ3排出量の最低90%をカバーします。基準について詳しくは、以下のページをご覧ください。このページには、企業が長期目標の設定に使用できる手法と、その適用方法を記載します。

手法の名称	手法の詳細	この手法を使用できる企業は？	適用する排出量のスコープは？
セクター共通総排出量削減	総排出量は、最低でもセクター共通経路に整合する量を削減します。「総量削減」と呼ばれることもあります。最低削減量は、全体量として算定します（例：セクター共通経路については全体量の90%）。	電力またはFLAG（森林・土地・農業）セクターを除くすべての企業。	全スコープに適用
セクター別総排出量削減	総排出量は、最低でもセクター別経路に整合する量を削減します。	FLAG、鉄鋼、セメント、建物（商業および住宅）セクター。	全スコープに適用
セクター別強度収束 (SDA)	<p>物理的排出強度目標は、遅くとも2050年までにセクター内の全社がセクター別排出強度に収束することを基礎に算定します。「物理的強度収束」または「SDA」と呼ぶこともあります。</p> <p>長期目標の排出強度目標は、各セクターの2050年（電力および海上輸送SDAについては2040年）の排出強度と同一です。</p>	<p>多排出セクター内の企業または多排出活動を行う企業に推奨します。</p> <p>FLAGコモディティ経路については下の欄を、その他のセクター別経路については10ページをご覧ください。</p>	全スコープに適用
		<p><b>FLAGセクターコモディティ経路</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 牛肉</li> <li>● 鶏肉</li> <li>● 乳製品</li> <li>● トウモロコシ</li> <li>● 皮革</li> <li>● パーム油</li> <li>● 米</li> <li>● 小麦</li> <li>● 豚肉</li> <li>● 大豆</li> <li>● 材木・木質繊維</li> </ul>	
再生可能電力	企業は積極的に、2025年までに最低80%は再生可能電力を調達するようになり、2030年までに再生可能電力を100%調達し、その後再生可能電力の100%調達を維持します。	全企業	スコープ2
スコープ3経済的強度の低減	経済的排出強度は、少なくとも温暖化を1.5°Cに抑える目標に整合する値まで低減します。最小低減値は、全体の97%削減として算定されます。	全企業	スコープ3排出量
スコープ3物理的強度の低減	<p>物理的排出強度は、少なくとも1.5°C目標に整合する値に低減します。</p> <p>最小低減値は、全体の97%削減として算定されます。</p>	全企業	スコープ3排出量

# 科学に基づく目標の1.5°C経路

各セクター別に、利用可能・策定中の経路およびガイダンスの開発と時間軸を要約した表です。各セクターに適切な経路、手法およびツールについてさらに詳しくは、企業ネットゼロ基準の表4にまとめてあります。セクター別の進展と利用可能な資料に関する最新情報は、[セクター別ウェブページをご覧ください。](#)

セクター	SBTセクター	適格な経路の対象：		
		短期SBT	長期SBT	ガイダンス
セクター共通	企業ネットゼロ基準	★	★	●
	企業短期目標基準	★	☆	●
建物	建物	★	★	●
FLAGセクター	森林・土地・農業 <sup>1</sup>	★	★	●
金融機関 (FI)	FI - ネットゼロ	☆	☆	●
	FI - 短期	☆	☆	●
	保険	☆	☆	●
原料	鉄鋼	★	★	●
	セメント	★	★	●
	化学品	☆	☆	●
	アルミニウム	☆	☆	●
エネルギー	石油・ガス	☆	☆	●
	電力会社・発電	★	★	●
輸送	陸上輸送 - OEM／自動車製造業	☆	☆	●
	陸上輸送 - 道路および鉄道	☆	☆	●
	航空輸送	★	★	●
	海上輸送	★	★	●
その他	衣料品	☆	☆	●



セクター別1.5°C経路  
利用可能



ガイダンス 利用可能



セクター別1.5°C経路  
2024/25年予定



ガイダンス 2024/25年予定



セクター共通経路を利用  
するセクター



ガイダンス まだ利用  
不可能

<sup>1</sup> 森林（木材／木質繊維）経路は、FLAGセクター目標には利用できません。さらに詳しくはこちら[をご覧ください。](#)

# ネットゼロ目標の審査準備

この章は、科学に基づく短期目標の認定をすでに受けており、ネットゼロへのコミットの一環として長期目標の提出を希望する企業を対象とします。以下の設問は、審査プロセスを開始する前に企業が完了しなければならない必須の確認事項です。

設問	回答	アクション
1. 現行の科学に基づく短期目標は、企業ネットゼロ基準の野心要件を満たしていますか？	はい。自分の会社のスコープ1+2目標は1.5°C目標に整合しており、スコープ3目標は最低でも2°Cを十分下回る目標に整合しています。	設問4へ
	いいえ。自分の会社のスコープ1+2目標は1.5°C目標に整合せず、（または）スコープ3目標が最低でも2°Cを十分下回る目標に整合していません。	次の設問へ
2. あなたの会社は、「ビジネス・アンビション・フォー・1.5°C」キャンペーンにオプション2経由でコミットしていますか？	はい	次の設問へ
	いいえ	<a href="#">このフォームを使用して、スコープ1+2は1.5°C目標に整合するよう、スコープ3は少なくとも2°Cを十分下回る目標に整合するよう、短期目標を再提出して審査を受けてください。</a>
3. あなたの会社の認定済目標は、スコープ1+2が少なくとも1.5°C目標に整合し、スコープ3が2°Cを十分下回る目標に整合していますか？	はい	次の設問へ
	いいえ	<a href="#">このフォームを使用して、あなたの会社の短期目標を再提出し、審査を受けてください。</a>
4. あなたの会社の目標が認定されたのが5年以上前の場合、有効なすべての目標がSBTiの「必須目標の再確認」基準（企業短期目標基準 C26 / 企業ネットゼロ基準 C32）に適合していることを確認しましたか？	はい。自分の会社の目標は最新のSBTi基準に適合しないことが判明しました。	<a href="#">このフォームを使用して、あなたの会社の短期目標を再提出し、審査を受けてください。</a>
	はい。自分の会社の目標は最新のSBTi基準に適合していることに自信があります。	次の設問へ
	いいえ	あなたの会社の目標を見直して、最新のSBTi基準に適合していることを確認してください。
	該当しません。自分の会社の目標が認定されてから5年未満です。	次の設問へ
5. 現行の科学に基づく短期目標を他に何か修正する希望はありますか？ 例：目標の追加、基準年の変更、基準年のインベントリ訂正など。	はい	次のページへ
	いいえ	

# ネットゼロ目標の審査準備

この章は、科学に基づく短期目標の認定をすでに受けており、ネットゼロ目標の提出を希望する企業を対象とします。企業にとっては、以下の条件を再確認し、企業短期目標基準 C27および企業ネットゼロ基準 C33に基づく短期目標の再算定を誘発したかどうかを理解することが重要です。

## 6. 科学に基づく短期目標をSBTiに提出して以来、以下のいずれかの出来事がありましたか？\*

\* SBTiでは、5%以下の重要性閾値を適用するよう企業に求めます。基準年の排出量については、組織の基準年総排出量の5%に変更があると、基準年の排出量を再算定するよう求められます。目標バウンダリの対象となる基準年排出量の5%以上に変更があると、目標を再算定するよう求められます。

スコープ3排出量がスコープ1+2およびスコープ3排出量全体の40%以上に達した。

GHGインベントリのために選択する統合アプローチを変更した。

インベントリ内または目標バウンダリ内の除外に重大な変化があり、（または）許可される除外の上限（スコープ1+2排出量の5%以上および／もしくはスコープ3排出量の33%以上）を上回った。

会社の目標バウンダリまたは野心に影響する組織構造および活動が大きく変化した（例：買収、分割、合併、内製化・外製化、製品もしくはサービス内容の変化など）。

データソースまたは算定の方法論を調整したため、組織の基準年総排出量または目標バウンダリの基準年排出量に大幅な変化を生じた（例：重大なエラーが明らかになった、または複数のエラーが累積し、あわせると重大なものになった）。

その他、科学に基づく目標の設定に使用した予測／推測に大幅な変化があった。

上記のどれか一つでも「はい」と答えたものがあり、加えてあなたの会社の目標がSBTi基準（例：要求される野心またはバウンダリ要件）に一致しなくなった場合、目標の再算定を誘発することになります。したがって、あなたの会社の科学に基づく短期目標を再算定し、[このフォームを使用して再提出し、再審査を求めようお願いします](#)。

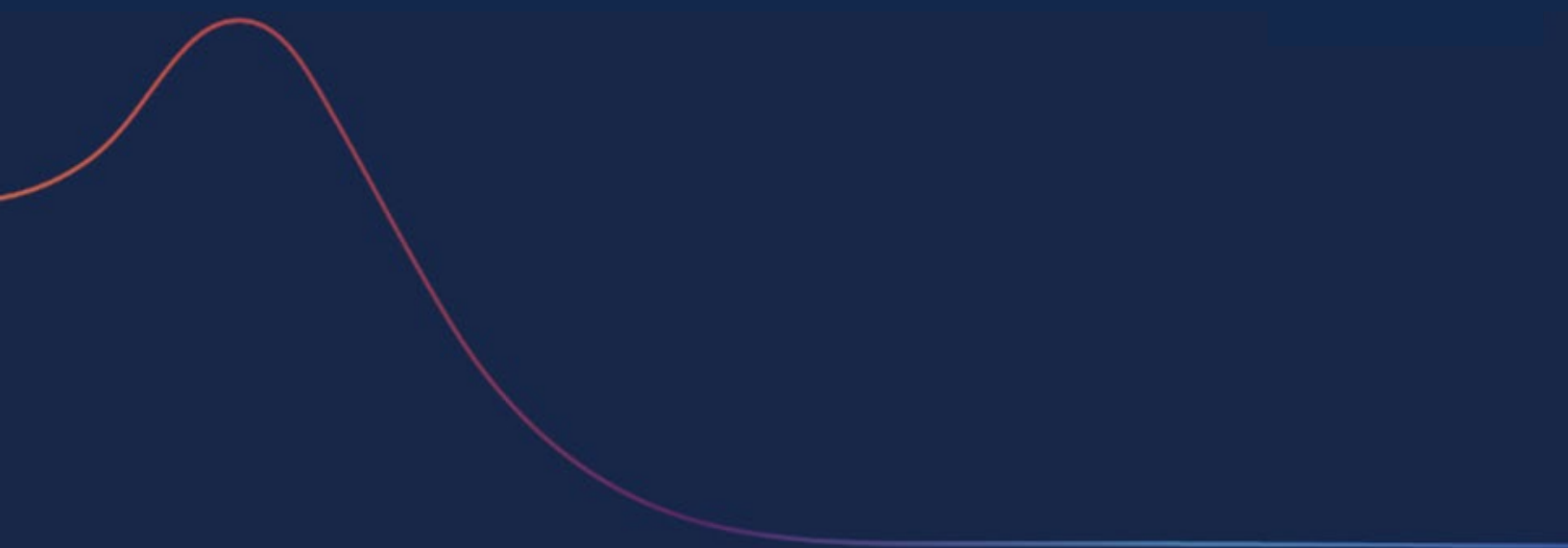
\*企業には、ネットゼロパッケージ提出の一環として、短期目標を再提出する資格があることもご承知おきください。

# ネットゼロ目標の審査準備

この章は、科学に基づく短期目標の認定をすでに受けており、ネットゼロ目標の提出を希望する企業を対象とします。

企業がこれらの設問の回答に基づいて目標を更新する義務はありませんが、更新することはベストプラクティスと最新の気候科学への整合に寄与します。これらの設問を検討することは、審査プロセスの準備と可能な限り円滑な進行の徹底に役立ちます。


設問	回答	アクション
7. 現行の気候変動緩和戦略を踏まえて再考しても、あなたの会社の目標はビジネスモデルを反映した現実的なものですか？	はい	次の設問へ
	いいえ	次の設問へ
8. あなたの会社の科学に基づく短期目標は2015年より前の基準年を使用したものですか？	はい	あなたの会社の短期目標の基準年が2015年より前の場合、基準年を2015年以降とする新しいネットゼロ基準に整合するよう、その目標の基準年の更新を検討ください。
	いいえ	次の設問へ
9. あなたの会社の短期目標の中で、時間枠の更新を希望するものがありますか？特に、あなたの会社の短期目標の目標日は近づいていますか？	はい	企業は、近づいてきている目標を無事に達成できる見込みがあるかどうか、評価する必要があります。目標の時間枠の更新を希望する場合、目標の再提出プロセスを使用してください。
	いいえ	次の設問へ
10. スコープ3排出量が総排出量の40%に満たない場合、スコープ3短期目標を設定する必要はありません。あなたの会社には、この状況が該当しますか？	はい	この状況にある企業は、ネットゼロにコミットする一環として、長期目標を補足するためにスコープ3短期目標を設定することも可能です。
	はい。しかし自分の会社では、すでにスコープ3目標を設定済みです。	次の設問へ
	該当しません。自分の会社のスコープ3排出量は総排出量の40%を超えているため、スコープ3目標の提出を義務付けられています。	次の設問へ
11. あなたの会社では、強度方式を使用し目標をモデリングしましたか（特に、セクター別強度収束法 (SDA) を使用した場合）？	はい	あなたの会社の目標が、現行の <a href="#">企業短期目標ツール</a> の野心要件に今でも合致しているかどうかを確認してください。最新の要件に合致していない場合、目標の再提出を検討ください。
	いいえ	次の設問へ
12. 該当する更新があるかどうか、セクター別ガイダンスを何か再確認しましたか？	はい、再確認しました。セクター内で自分の会社の目標に影響する進展がありました。	最新のセクター別要件に合致するよう、あなたの会社の目標を更新して再提出することを検討ください。
	はい、再確認しました。セクター内で自分の会社の目標に影響する進展はありませんでした。	おめでとうございます！あなたの会社は、認定済の科学に基づく短期目標について必要なチェックをすべて完了し、ネットゼロ目標の審査を受ける準備が整いました。
	いいえ	続ける前に、 <a href="#">セクター別ガイダンス</a> のページを再確認するようSBTiからお勧めします。





Science Based Targets Initiative is a registered charity in England and Wales (1205768) and a limited company registered in England and Wales (14960097). Registered address: First Floor, 10 Queen Street Place, London, England, EC4R 1BE.

SBTI Services Limited is a limited company registered in England and Wales (15181058). Registered address: First Floor, 10 Queen Street Place, London, England, EC4R 1BE.

SBTI Services Limited is a wholly owned subsidiary of Science Based Targets Initiative.

 [sciencebasedtargets.org](https://sciencebasedtargets.org)

 [/science-based-targets](https://www.linkedin.com/company/science-based-targets)

 [@sciencetargets](https://twitter.com/sciencetargets)

 [info@sciencebasedtargets.org](mailto:info@sciencebasedtargets.org)